

ハッピーブック運動（八代市小中学生読書推進事業）実施要項

平成30年4月改訂

1 趣 旨

小中学生にとって優良図書である推薦図書を各学年ごとに設定し、各学年での目標読書冊数を読破していく取組を通して、本市の小中学生の活発な読書活動の推進を図る。

読書活動の推進により、小中学生の学力の向上や豊かな心の育成、人格形成の支援をなしていくことにより、郷土を拓く人材を育成し、本市の発展に寄与することを目的とする。

2 内 容

（1）推薦図書

小中学校の各学年ごとに、国語の教科書掲載の推薦図書を始めとし、厚生労働省社会保障審議会推薦図書や八代市立図書館で選定した優良図書各学年約300冊を設定する。

（2）読書の方法

ア 児童生徒が推薦図書を読む。（推薦図書以外でも可）

イ 児童生徒が本を借りるとき、読書カードに貸出日及び図書名を記入し、返却した場合は確認印（スタンプ可）を押し、返却日を記入する。

（3）年間目標読書冊数

1年間（4月～3月まで）の目標読書冊数は、小学生では低学年100冊、中学年80冊、高学年60冊、中学生では30冊とする。

（4）表 彰

年間に目標読書冊数を達成した児童生徒を各学校において年度末に表彰する。

ア 各学年目標読書冊数達成（1年間）

イ 小学校6年間連続目標読書冊数達成

ウ 中学校3年間連続目標読書冊数達成

エ 小中学校9年間連続目標読書冊数達成



（5）市立図書館の推薦図書団体貸出

推薦図書が不足する場合には、各小・中・特別支援学校が八代市立図書館（分館含む）から団体貸出で借りることができる。（300冊を2ヶ月間）

別紙 詳細事項

1 推薦図書リスト

推薦図書リストについては、各学級ごとに1冊配付する。

2 読書の方法

(1) 読書カード及びファイルを児童生徒一人に1枚ずつ配付する。

(2) 児童生徒が図書を読み、読書カードに記録をする。

ア 児童生徒は各学校図書館もしくは八代市立図書館（分館含む）において本を借りて読む。推薦図書以外でも可。また、自分で購入した本でも可。なお、カードに記録してよい本の種類は各学校で判断可とする。

イ 学校図書館で借りるときに、読書カードに借りた本のタイトルと貸出日を書く。または学校図書館のパソコンから履歴を印刷し、貼り付ける。返却するとき、返却日の記入をする。

ウ 八代市立図書館で借りる場合には、そのレシートを台紙に貼るか、自分で記入する。

エ 確認印欄の使用の有無は各学校で判断可とする。

オ 目標達成した児童生徒は2冊目の台紙をもらい、達成後も読書を継続する。

カ 児童生徒は台紙をファイルに保存する。

3 表彰

目標を達成した児童生徒には表彰状を授与する。

4 市立図書館の推薦図書団体貸出方法

(1) 図書の貸出は各学校に300冊までとする。ただし、通常の団体貸出の冊数に含める。

(2) 貸出を受けようとする学校は各図書館に来館の上、選書し、図書館窓口にて借り、各学校に持ち帰るものとする。

(3) 坂本、東陽、泉地区の学校については、八代市立図書館本館において図書館職員が選書し、移動図書館車の巡回日に配本を行うことができる。